

2024年2月11日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒37番（旧 237 番）（KH 姉）

『わが主のこよなき御功』

聖書⇒ヨハネの黙示録 4 章 8~11 節（KH 姉）

『この四つの生き物には、それぞれ六つの翼があり、その表にも裏にも一面に目があった。それらは、昼も夜も絶え間なく唱え続けた。／「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな／全能者である神、主。／かつておられ、今おられ、やがて来られる方。」これらの生き物が、玉座に座り、世々限りなく生きておられる方に、栄光と誉れと感謝とを献げる度に、二十四人の長老は、玉座に座っている方の前にひれ伏し、世々限りなく生きておられる方を礼拝し、その冠を玉座の前に投げ出して言った。「私たちの主、また神よ／あなたこそ／栄光と誉れと力を受けるにふさわしい方。／あなたは万物を造られ／万物はあなたの御心によって存在し／また造られたからです。』

礼拝讃美歌⇒23 番（旧 152 番）

『聖なる聖なる聖なるかな』

聖書⇒エフェソの信徒への手紙 3 章 14~17 節（ES 姉）

『このようなわけで、私は、天と地にあって家族と呼ばれているあらゆるものの源である御父の前に、膝をかがめて祈ります。どうか、御父が、その豊かな栄光に従い、その霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強めてくださいますように。あなたがたの信仰によって、キリストがあなたがたの心の内に住んでくださいますように。』

聖書⇒ヨハネの手紙一 4 章 9~10 節

『神は独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、私たちが生きようになるためです。ここに、神の愛が私たちの内に現されました。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めの献げ物として御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。』

（祈）

聖書⇒ルカによる福音書 23 章 33~34 節 (NH 兄)

『「されこうべ」と呼ばれている所に来ると、そこで人々はイエスを十字架につけた。犯罪人も、一人は右に一人は左に、十字架につけた。[その時、イエスは言われた。「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか分からないのです。」』』

聖書⇒使徒言行録 7 章 59~60 節

『人々が石を投げつけている間、ステファノは主に呼びかけて、「主イエスよ、私の霊をお受けください」と言った。そして、ひざまずいて、「主よ、この罪を彼らに負わせないでください」と大声で叫んだ。こう言って、ステファノは眠りに就いた。』

聖書⇒コロサイの信徒への手紙 3 章 13 節

『互いに耐え忍び、不満を抱くことがあっても、赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたも同じようにしなさい。』

礼拝讃美歌⇒260 番 (旧 309 番)

『恵みに輝き』

(祈)

《パン裂き》

聖書⇒ヨハネによる福音書 1 章 29 節 (KH 兄)

『その翌日、ヨハネは、自分の方へイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ。』

(式)

礼拝讃美歌⇒155 番 (旧 208 番)

『神の小羊は』

《建徳》

聖書⇒ペトロの手紙一 1 章 6~9 節 (KH 兄)

『それゆえ、あなたがたは大いに喜んでいます。今しばらくの間、さまざまな試練に悩まなければならないかもしれませんが、あなたがたの信仰の試練は、火で精錬されながらも朽ちるほかない金よりはるかに尊く、イエス・キリストが現れるときに、称賛と栄光と誉れとをもたらすのです。あなたがたは、キリストを見たことがないのに愛しており、今見てはいないのに信じており、言葉に尽くせないすばらしい喜びに溢れています。』

それは、あなたがたが信仰の目標である魂の救いを得ているからです。』

聖書⇒テサロニケの信徒への手紙一 5 章 16~18 節

『いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 21 章 15~17 節

『食事が終わると、イエスはシモン・ペトロに、「ヨハネの子シモン、あなたはこの人たち以上に私を愛しているか（アガペー）」と言われた。ペトロが、「はい、主よ、私があなたを愛している（フィレオー）ことは、あなたがご存じです」と言うと、イエスは、「私の小羊を飼いなさい」と言われた。二度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、私を愛しているか。（アガペー）」ペトロが、「はい、主よ、私があなたを愛している（フィレオー）ことは、あなたがご存じです」と言うと、イエスは、「私の羊の世話をしなさい」と言われた。三度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、私を愛しているか。（フィレオー）」ペトロは、イエスが三度目も、「私を愛しているか」と言われたので、悲しくなった。そして言った。「主よ、あなたは何もかもご存じです。私があなたを愛している（フィレオー）ことを、あなたはよく知っておられます。」イエスは言われた。「私の羊を飼いなさい。』

聖書⇒ヨハネの手紙一 4 章 9~10 節

『神は独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、私たちが生きようになるためです。ここに、神の愛が私たちの内に現されました。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めの献げ物として御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。』

礼拝讃美歌⇒229 番（旧 239 番）(KH 兄)

『主よわが主よ』

《建徳要旨》